

7/30  
5種

# “議長交代” 萩生田氏の発言は言語道断 改憲策動の行き詰まりあらわ



記者の質問にこたえる小池  
晃書記局長 29日、党本部

## 小池書記局長が批判

日本共産党の小池晃書記局長は29日、党本部で記者団から、自民党の萩生田光一幹事長代行が右派系インターネット番組で「有力なターネット番組で「有力な

方

シフトを国会が行っていく

というのが極めて大事だ

と、安倍改憲のために「三

権の長」の一人である衆院

議長交代も必要との認識を示した発言について問われ、「言語道断だ」と厳しく批判しました。

小池氏は、萩生田氏の発言について「自民党の改憲策動というのは、自分たちが立てた議長が邪魔になる

くらい行き詰まっているということだ。いよいよ改憲そのものが行き詰まっている」と指摘。「そもそも首相側近が議長人事に口を出すこと自体が、議会制民主主義の根本、三権分立の根本的な理念を乱暴に踏みこむものだ」と批判しました。

小池氏は、野党と市民連合の政策合意で、安倍政権による9条改定に反対し、改憲発議そのものをさせないことで一致していると強調し、その立場で全力を尽くすと表明しました。